

熱中症予防情報発令システムの流れ

1. 草津小学校の校庭に設置された「定置型熱中症指標計」で、気温・湿度・黒球温度・WBGTの数値を自動計測する。
自動計測時間は午前9時より午後5時まで。
2. 「定置型熱中症指標計」で自動計測した各数値を市役所内に設置されたパソコンにリアルタイムに無線送信する。
3. パソコンに無線送信された各数値をパソコン内のソフトで監視する。
気温が31℃を越え、尚且つWBGTが28℃を越えると、パソコンのブザーを鳴らし、尚且つパトライトの赤色灯を点滅させて付近の人に警告する。
4. 警告が発せられると、市内の各施設や予め「熱中症情報の提供」を登録されている人の携帯電話にMailで熱中症の危険情報を配信して注意を促す。

各装置の働き

定置型熱中症指標計 WBGT-101S

本装置は本体に付属されたセンサで温度・湿度・黒球温度の自動計測を行い、それぞれの数値からISO7243に規定されている熱中症の指標となるWBGTを求める装置です。

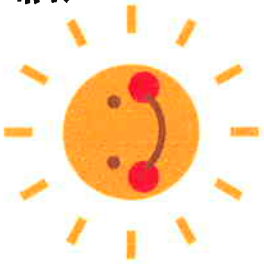
(WBGT=Wet Bulb Globe Temperature/湿球、黒球、乾球温度)

また、本装置で計測、計算された各数値を市役所内に設置されたパソコンに無線で送る機能も付属されています。

本装置は屋外設置型で全天候に対応しています。

パソコン (自動計測、収集ソフト内蔵)

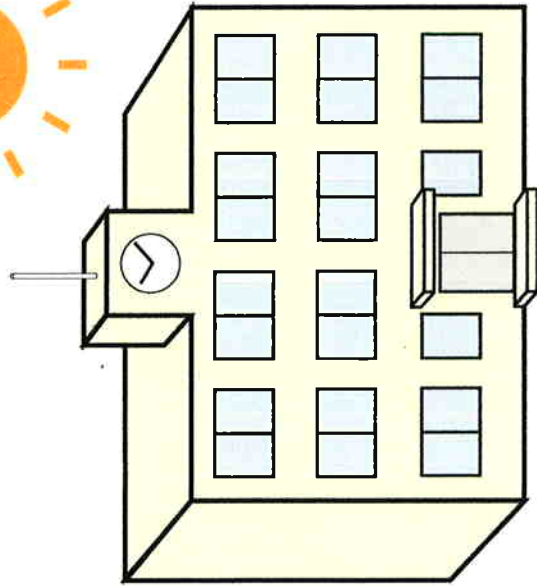
本装置は定置型熱中症指標計 WBGT-101Sの遠隔操作(計測開始、終了等)を行い、測定された数値を取込み記憶する装置です。また、モニター機能を有しており指定された測定数値が予め決められた基準を超えると、本装置内に付属されているブザー及び本装置に接続されていますパトライトの赤色灯を点滅させて付近の人に警告を発する機能も有しています。



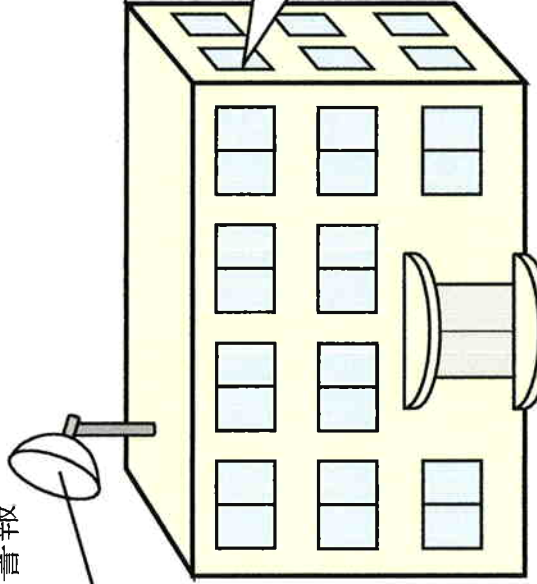
熱中症予防情報発令システム

草津市

気温 31℃以上 > 警報
WBGT 28℃以上

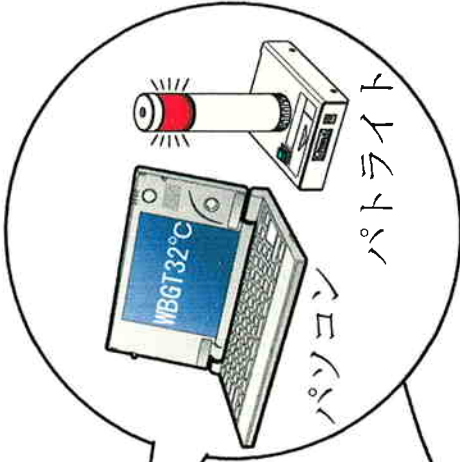


草津小学校



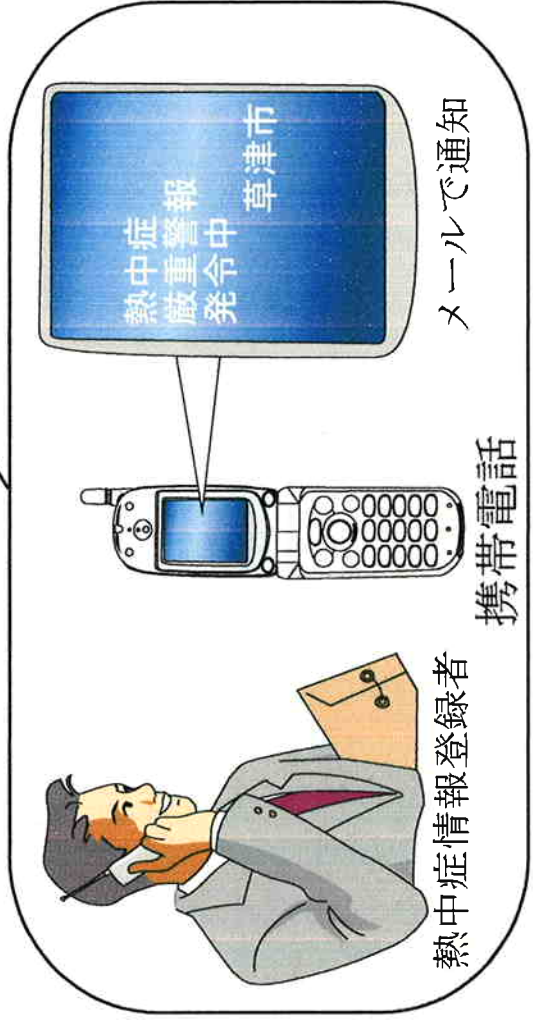
草津市役所

市民環境部
防犯防災対策室



気温
WBGT
測定

熱中症指標計

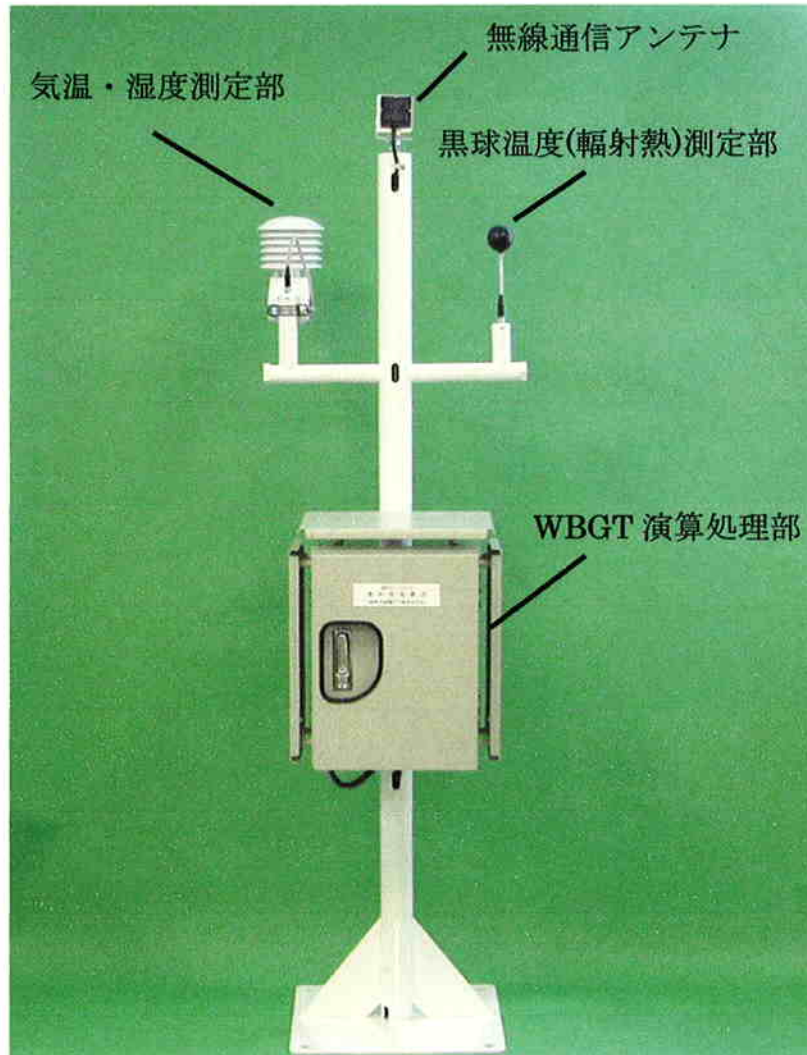


熱中症情報登録者

携帯電話

メールで通知

熱中症指標計測装置



草津市